

裏路地探険

人々の往来が絶えなかった交通の要衝
商店が軒を連ね、盆と暮れは市場が開かれた
人や物、文化が行き交った町並みを歩く

府市場の町並みを歩く／豊岡市日高町

但馬古代史最大の謎である但馬国府跡と推定されている豊岡市日高町府市場。円山川沿いに位置し、ちょうど出石と城崎に向かう分岐点にあることから、交通の要衝として栄えた。

人の往来が絶えず、その名が示すように但馬各地から商人が集まる市場として賑わったという。東部の国府市場と西部の手辺

という2つの地域から成り、国府市場が先に始まったことから、「府市場」と呼ばれるようになった。

特に国道312号沿いの手辺は、昭和30〜40年代頃、呉服屋、雑貨屋、魚屋、傘屋、鍛冶屋などの店が並び、ここで揃わないものはないといわれる商店街だった。

手辺と呼ばれた街道筋の風景。右手が旧街道、左手が国道312号。すべて揃っていたと思われる商店街が残っていた。



善應寺の山門。「府一関」と書かれた揮毫は、関所を表す。交通の要所であり市場が立ったこの場所に、多くの人が集まったことを物語る。



平成8年に再び組み上げられた国府市場の屋台。艶やかな見送り幕が目を引く。かつては屋台に乗った男衆が太鼓、鼓、横笛、三味線などで囃し、子どもたちか手踊りを披露したという。



3年に一度行われる神輿渡御は、伊智神社の秋祭り。伊智神社旗を先頭に神輿行列が町を練り歩く。神輿は男衆が30人かかりで担ぐ立派なもの。府市場の繁栄ぶりを表す伝統行事である。



坐像の人さき2メートル、三たん一の人さきさといわれる延命地蔵。隣には廃寺となった智文寺跡が建つ。出石の見性寺住職であった智文和尚が隠居するため、郷里のこの場所に建立された。地蔵尊が和尚在任中の文久3年(1863)に安置されたといわれる。



円山川を正面に鎮座する氏神・伊智神社。荘厳な社そう林の中に屋台蔵(左)、神輿蔵が建っている。境内には宝篋印塔があり、豊岡市上郷にある湯仲山の城址より出土したものと伝わっている。

明治〜昭和初期には盆(8月7日頃)と暮れ(12月23日頃)の2回、1週間ほど市が開かれ、豊岡や江原の方からも商人がやってきて露店を出していたそうである。今の府中郵便局のあたりから南へ約300メートル、国道の西側沿いに市が開かれ、一斉大売り出しと称し、通常の店舗にまじって、夏は盆用品、アイスクリーム、七夕紙、暮れはおせち料理の材料や正月飾りなどを売る店が軒を連ねた。「安いぞ、買いなれ」という威勢のよいかげ声とともに、多くの人でごった返したといわれる。現在、往時の面影を見ることはできないが、かつての繁栄ぶりを示すエピソードが残っている。そのひとつが、古くから大事に守られている伊智神社の秋祭り。3年ごとに行われる神輿渡御は、天狗・白鬼などの行列に率いら

いきいき健康ライフ

中高年の運動不足をサポート!

「いつまでも明るく、生き生きと過ごしたいから…」

1人1人が積極的に健康増進するための健康福祉センターです。常駐のインストラクターがみなさんの健康づくりをしっかりとサポート!まずは30分前後の気軽なレッスンからご参加ください。

日高東部健康福祉センター

兵庫県豊岡市日高町堀809番

TEL.0796-43-2001 (株)エヌ・エス・アイ

営業時間	月～金	土曜日	日曜・祝日
	10:00～21:00	9:00～21:00	9:00～17:00

※5月～11月末は営業時間を1時間延長 ※定休日/第2・第4水曜日



但馬で有数!
最新マシン充実

味のある山門が特徴の善應寺。府市場では、戸数に対して旦那寺の数が多いのが特徴。善應寺を筆頭に、出石や豊岡の寺など10カ寺ほどを数える。地元では、各地から人が集まった名残ではないだろうかといわれている。

至豊岡市街

善應寺



善應寺の参道前に行むお地藏さん



案内役の府市場区長・田結庄さん



三木さんを始めとする地元の昔話同好会の方々にも協力していただいた

かつて手辺市が立った国道312号沿い。手辺の由来は、羽柴秀長(秀吉の弟)が「手の指す辺りにある白い家は何者の家か」と尋ねたことによる土地では伝えられている。

元の観音堂は道の向かい側にあり、堤防工事で現在の場所に移された。夏は盆踊りが踊られていた。

観音堂

府中郵便局

稲荷宮

尼寺跡

延命地藏

伊智神社

宝隣印塔

薬師堂

お地藏さん



旧街道

国道312号

妙見堂

公民館の横にはレトロな火の見櫓

かつてはこの辺りに堤防があったという。洪水に悩まされた府市場の人々。昔は手作業で堤防の工事に当たった。

堤防

桜づみ回廊

至義父市

円山川

上郷橋

出石と城崎の分岐点であったため人の往来が絶えなかった。昔は船着き場があった。江戸時代は出石城下へ行く人、城崎温泉へ湯治へ向かう人が行き交ったであろう。



平成14年の堤防工事の際に、約1,200本の桜木が植えられた。春は約1.5キロ続く桜並木が満開を迎える。地元では10年、20年に渡ってこの「桜づみ回廊」を守ろうと、桜の管理法を学ぶ講習会が開かれている。桜の見頃は観音堂も開催。

●裏路地探検隊員募集
平成20年4月12日(土)

「鎧(よろい)を歩く」香美町香住区

*実施日の10日前までに、18ページ掲載のT2編集部へ、住所・氏名・年齢・電話番号・「裏路地参加希望」とお書きの上、ハガキにてお申し込みください。開催は午前中、現地集合・現地解散となります。申込締切日後、案内を参加ご希望の方へご送付致します。

景もまた違って見える。

人、物、文化が行き交った府市場。商店が立ち並び、人々が集う姿を思い浮かべながら車を走らせれば、普段何気なく通り過ぎる風景もまた違って見える。

また、町内には観音堂、薬師堂、妙見堂、稲荷宮など様々な信仰の場があり、確かではないが、各所から人が集ったことに関係しているのではないかと考えられている。

昭和27年までは屋台(山車)巡行も行われ、屋台に乗った袴姿の男衆が笛や太鼓を囃す光景は壮観であった。国府市場と手辺で、1基ずつ唐破風の屋台を保有していたというから驚きだ。

た神輿が町内を練り歩く。30人近い担ぎ手によって担がれる神輿は豪華絢爛で、多くの見物客が訪れるという。

昭和27年までは屋台(山車)巡行も行われ、屋台に乗った袴姿の男衆が笛や太鼓を囃す光景は壮観であった。国府市場と手辺で、1基ずつ唐破風の屋台を保有していたというから驚きだ。

特別天然記念物 コノトリ

豊かな未来へ

地域のために、あなたと共に

但馬信用金庫

本店/豊岡市中央町17-8 TEL0796(23)1200

<http://www.tanshin.co.jp/>

